

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502512		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホーム みのり菊水元町		
所在地	札幌市白石区菊水元町9条1丁目3番1号		
自己評価作成日	平成27年3月1日	評価結果市町村受理日	平成27年4月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域に根ざしたグループホームを目指し、認知症であってもその人らしく穏やかな日々を過ごして頂けるように努力しております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kan=true&JigrosyoCd=0170502512-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成27年3月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

白石区の閑静な住宅地にある2ユニットのグループホームで、敷地内には同法人の介護付き有料老人ホームが併設され廊下で繋がっている。建物内は、ゆったりとした造りでトイレや洗面所、浴室も使いやすく設備が整っており、全体に清潔で家庭的な雰囲気である。職員の理念に対する理解度が高く、毎朝全員で唱和し、個人面談でも理念を確認している。地域との交流が盛んで、町内会主催の「ふれあい広場」の行事に利用者と職員が参加し、老人ホームと合同のバーベキュー等の行事には町内会の方を招待している。幼稚園児との交流もある。身体拘束防止に力を入れており職員も正しく理解している。毎月、「みのり通信」と個別の「近況報告」を全家族に送付する等情報発信にも力を入れている。職員の意見を尊重し、毎月の会議や個人面談、法人主催の研修時にも職員の意見を聞いている。事業所への来客を歓迎しており、知り合いや昔の教え子等が訪ねてくる利用者もいる。また、併設されている老人ホーム出身の利用者が日常的に親しい居住者と行き来して交流している。職員の同行でお墓参りをしたり、元住んでいた家の草刈りをする利用者もいる。利用者は、天候の良い時期には、近くの「桜の杜」や公園を散歩し、冬季は、大型商業施設等で外食等を楽しんでいる。また、毎月、個別の外支援助も行っている。熱心な管理者のもとに、職員は利用者の人格を尊重して優しく呼びかけている。利用者はゆったりと毎日の生活を楽しんでいる。

V. サービスの成果に関する項目(とまと館アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられる (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域との交流、尊厳のある生活支援を掲げた理念を職員全員で考え、毎朝唱和することで常に意識するようにしております。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念は、開設1年後に全職員で話し合っつくり上げられた。理念は玄関と各ユニットに掲げられ、朝の申し送り時に全員で唱和され共有されている。管理者による年2回の個人面談でも理念を確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	毎月町内会で開催される「ふれあい広場」や季節ごとに行われるごみ拾い、花壇作りに参加したり、地域のサークル活動等にも参加し交流を図っております。また、ホームで行われる行事にも町内の方々に参加頂いております。	町内会主催の「ふれあい広場」では毎月のように行事が開催され、利用者は職員と一緒に参加している。また、併設されている介護付有料老人ホームと合同のバーベキューや節分の豆まき、正月の餅つきなどに町内会の方を招待している。近隣の幼稚園児との交流もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の一環で年に一度町内会の方々にも多く出席して頂き講習会を開催しております。今年度は認知症サポーターキャラバンを実施しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、町内会の方々、ご家族様、入居者様、地域包括支援センターの方に出席頂き、実践報告を行うと共に有益な情報、ご意見を頂いております。	運営推進会議には、町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員、家族等が参加し、議事録も全家族宛に送付している。家族は、毎回5~6名のうちの1人が代表で参加している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者は札幌市、白石区の管理者会議等に参加するなど情報収集に努めております。また、疑問等がある場合は白石区役所、社会福祉協議会等の担当者に相談させて頂いております。	管理者は区の管理者会議に毎回出席しており、市役所の担当者や区の担当者と、直接訪問や電話などで報告や相談、情報交換を行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は玄関の出入りは自由となっております。又、職員は研修に参加し身体拘束廃止の概念を学んでおります。	「身体拘束防止マニュアル」が整備され、「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」の内容を全職員に配布し、職員は内容を正しく理解している。また、玄関は施錠せず、1階はセンサー、2階は鈴をつけて人の出入りが分かるようになっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関する研修に参加しその概念を学ぶと共に日ごろの不安、不満を解消できるよう職員間での対話を大切にしております。		

グループホーム みのもり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部の研修に参加すると共に、入居者様の中に成年後見人制度を利用されている方がおり、その関わりから学ぶ機会を得ております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約前には事前に契約書類をお渡しし、熟読して頂いた上で再度説明しご質問に対し丁寧に答え、ご理解を頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃からご家族様の対話を大切に気軽にご意見を頂ける様な関係作りを心がけております。又、玄関にはご意見箱を設置し広くご意見を頂ける様努めております。	家族の訪問時には、担当職員が話をして意見を聞いている。毎月、事業所の行事や様子を盛り込んだ写真入りの「みのもり通信」と、各利用者の様子を伝える「近況報告」を全家族宛に送付している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は年に2回定期的に面談を行い職員の意見、提案を聞く機会を設けると共に、本社企画の研修等を通じ意見交換の場が設けられております。	毎月のユニット会議で職員は活発に意見交換しており、管理者による年2回の個人面談もある。また、法人主催の研修時には代表者や本社の担当者が職員の意見を聞いている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回人事考課を実施し各職員の実績、要望を取り入れ職場環境の整備に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本社研修課により定期的に開催される研修、または役職者研修によってそれぞれの職員に適した研修が行われております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	社外の研修に参加する機会を設けております。管理者は地域の管理者会議等を通じ交流を図り情報交換に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談にてご本人様の現状を把握し安心できるような環境を整え、入居後はこまめな対話、状態観察を行いご本人様が安心できるような関係作りを心がけております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面談にてご家族様との対話を大切にし不安解消に努めております。入居後は気軽に訪問して頂ける雰囲気作りを心がけております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居初期はご家族様・入居者様との関係作り状態観察を重視し必要なサービスを取り入れるよう調整しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様との対話を重視し、これまでの生活習慣等を配慮し新しい生活の中で、ご本人様が安心して過ごす環境が作れるよう関係作りを心がけております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様には病院受診や行事への参加して頂くと共にセンター方式の作成にご協力頂きご意向を伺い、ケアに参加して頂く事で共に支える一員としてよりよい関係となれるよう心がけております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様やご友人の来訪時には心地よく過ごしていただけるよう配慮しております。また、ご家族様の協力の下、かかりつけ医の継続などこれまでのつながりを大切に支援に努めております。	訪問者を歓迎しており、以前近所に住んでいた方や昔の教え子等が訪問する利用者が数人いる。また、併設されている有料老人ホームに元住んでいた利用者は、親しい居住者を訪問して話をしたり本やCDを借りに行ったりしている。職員の同行で墓参り等に行く方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様それぞれの状態、性格等を考慮し食事の席の配置等調整を行い互いに支え合える環境づくりを心がけております。		

グループホーム みのみり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用契約終了後もご家族様から気軽に相談を受けられるよう関係の継続に努め、状況に応じ関連機関のご紹介等行っております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様・ご家族様の想いを把握できるよう話しやすい関係を築くことを心がけ、ご本人様が望まれる生活を形成できるよう努めております。	言葉で表出できない利用者には「ケース記録」を参考に家族や他の職員の意見を聞いて思いや意向を把握している。センター方式のアセスメントシートに情報を蓄積し定期的に見直している。	思いや意向の情報は随時に見直し、アセスメントシートに情報を蓄積していくことを期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式アセスメントシートを活用しご家族様のご協力、ご本人様への対話から情報収集を行い今後の暮らしに結び付けられるよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様・ご家族様との対話により一人ひとりが持たれる趣味、特技(読書、編み物、パズル、手芸等)を生かし、お好きな空間でお好みの時間を過ごして頂けるよう配慮しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月ユニット会議を開催し職員全員で全入居者様のケアについて話し合い、よりよいケアが取り組めるよう介護計画を作成しております。	モニタリングとカンファレンスを毎月行い、介護計画を短期6か月、長期1年、状況が変化した場合は随時行われているが、日々の記録は介護計画を意識した記載方法になっていない。また、計画は家族に説明し同意を得ているが、全家族の署名捺印は得られていない。	日々の記録を介護計画を意識した記載方法にすることを期待したい。また、早い段階で、全家族の署名捺印を得られることを期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の毎日のケース記録用紙にケアの状況を記録し一人ひとりの把握に努めております。その他月間ケース記録に日々の暮らし、変化を記録し情報の共有を図っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	週2回の訪問看護で健康状態の把握に努めております。また、隣接する有料老人ホームでの季節行事に参加したり、移動販売等を活用し買い物などを楽しんで頂いております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会のふれあい広場やお花見行事等町内活動に参加しております。また、町内の方が話し相手や演芸のボランティアに来て頂いたりセラピー犬の来訪もあり多くの方に来訪頂いております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的にかかりつけ医(内科・歯科)の往診があり、また入居前からの病院受診にもご家族様のご協力を得ながら継続受診を行っております。	協力医療機関の月2回の往診に加えて訪問看護が週1回あるが、医療機関の選択は自由であり通院支援も職員が行っている。家族の協力で通院する場合は、事前に医療機関宛に手紙を用意し、家族に渡している。	

グループホーム みのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回の訪問看護師の往診がありその都度全利用者様の様子を報告、相談し適切な指示、処置を行って頂き介護職員と看護職員それぞれの視点を併せ入居者様の支援にあたっております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様の急変時には主治医に連絡し指示を仰ぐとともに、入院時には情報の共有が図れるよう協力しております。また早期退院、ホームでの生活継続を目指し体制作りにも努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化看取りの指針を作成しご家族様への説明を行うと共に、日々の変化をこまめにご家族様、医療機関に報告・相談する中で重度化、終末期の意思確認を適宜行っております。	利用開始時に「重度化・看取りに関する指針」を本人・家族に示して説明し「看取り介護に関する同意書」に署名・捺印を得ている。最後まで看取りの経験はないが、現在、対象になる方がいるので、看取りの社内研修を行う等体制を整えているところである。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時、その後定期的に振り返りを行い事故の再発防止に取り組むと共に、定期的に応急手当や初期対応の研修に参加しており、常にあわせて対応できるよう心がけております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2度(1度は夜間想定)火災のみならず地震、災害に備えた避難訓練を実施し、消防署、消防団、近隣の方々にも参加して頂いております。火災通報の緊急連絡網には近隣の方々も登録し連携体制を築いております。	併設された有料老人ホームと合同の避難訓練は、昼間対応を自主訓練で、夜間対応を消防署の協力で行い、町内会役員や消防団等の協力も得ている。救急救命訓練が定期的に行われ非常時の備蓄品も準備されている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	原則「(苗字)さん」付けを徹底しておりますが、女性の場合は旧姓にも考慮しご本人様が馴染まれた呼び方を使用するなど言葉遣いに配慮しております。	利用者への呼びかけは、名字に「さん」付けが基本だが、利用者・家族の希望で慣れ親しんだ呼び方で対応することもある。年2回、法人の接遇担当者の視察もある。個人情報事務室保管とし、持ち出し禁止としている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常的に会話を大切にし、言葉での表現が困難な方にも一人ひとりの表情・行動などを観察し、それぞれが望まれることを汲み取れるよう心がけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかなスケジュールはあるもののその日の天候や行事、個々の希望に合わせて対応できるよう日々努力しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問理美容を利用しお好みの髪型に整えて頂いております。また、ご家族様の協力の下ご本人様が好まれる洋服を用意して頂いたり、移動販売等で購入の機会を作るなど支援しております。		

グループホーム みのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	それぞれの能力に応じ簡単な調理手伝いや片付けなど職員と一緒に、又は入居者様同士助け合って行って頂いております。	利用者が配膳や下膳などを手伝っている。食材配達業者から2週間分の献立が届くが、利用者の嗜好により変更している。季節のおやつや誕生日のケーキを購入したり、畑で収穫した新鮮な野菜を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の体調に応じた食事の提供を心がけ、水分摂取が困難な方にも時間や量を調整し確実に摂取して頂けるよう努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月2回の歯科往診医の指導のもと、毎食後個々の状態、能力に応じた口腔ケアを支援しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ケース記録に個々の排泄時間を記録し排泄パターンを把握し必要に応じ、見守り、介助を行っております。	排泄・水分チェック表を基に声かけし、日中は殆どの利用者がトイレで排泄している。声かけの際は、周囲に気づかれないように場所を変えたり、利用者の理解度に合わせた表現としている。排泄用品の収納場所にも配慮をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主治医の指示のもと、水分調整、下剤調整などを行い排便コントロールを行うと共に排泄の失敗でご本人様が傷つかないよう注意を払っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者様の体調や希望に合わせて3日に1度を目処に入浴の支援を行っております。	毎日、午後の時間帯に週に2回以上入浴している。1回毎に湯を入れ替え、好みの入浴剤を楽しんでいる。入浴を嫌がる方には、無理強いせず、担当者を変更したり言葉かけを工夫して対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各個室には身体状況に応じた寝具類を準備し、また馴染みの家具等で寛げる空間作りを心がけております。また、不安等の訴えがある場合は傾聴し安心して眠ることができるよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	提携している調剤薬局の管理、指導のもと、個々の服薬内容を把握し服薬支援を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様それぞれの趣味、特技を生かし読書、編み物、パズル、手芸、歌等で日々を過ごしたりビンゴ、居室等好きな空間で過ごして頂けるよう支援しております。		

グループホーム みのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	春から秋にかけては日常的にホーム周辺への散歩が楽しめるよう心がけております。また、お花見やゆきまつり、よさこいソーラン祭りなど季節の行事には車で外出するなど様々な外出の機会をつくることのできるよう支援しております。	天候の良い時期には、近隣の河川敷にある「桜の社」や公園、住宅街の庭を眺めながら散歩をしている。車で川下公園に出かけソフトクリームを食べることもある。冬季は、大型商業施設などで買い物や外食を楽しんでいる。また、毎月、希望者には個別の外出支援も行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	隣接する有料老人ホームで開催される移動販売にてお買い物を楽しんで頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事務所の電話は共有とし入居者様にも利用していただけるように、又、必要に応じ取次ぎ等を行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日々の清掃を徹底し空間の清潔を心がけております。1階ベランダの外に花壇を作り季節ごとの花を植え季節の移り変わりを居ながらにして楽しめるように、又、季節毎に室内の装飾を変える等工夫をしております。	1階のユニット「とまと館」は、浴室や居間のカーテン、ゴミ箱などをピンク系としている。また2階の「めろん館」は、黄緑系としている。居間の大きな窓から日差しが入り、湿度も保たれている。洗面所や廊下の壁面に季節感のある飾り付けをし、清潔な共用空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング空間の家具の配置、玄関のベンチ等に工夫を凝らしそれぞれが好きな空間で過ごして頂けるよう配慮しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で長年使用されていた家具、寝具等馴染みのあるものを使用いただき、またご家族の写真、アルバム等いつでも見ることができるよう配置しております。	プライバシー保護のため表札は掲げていない。居室入り口には暖簾をかけたり、色違いの造花を飾り目印として自室が分かるようになっている。使い込まれた単箭などの家具や仏壇、化粧品などの日用品を置き、自作の紙細工を飾り、居心地よく過ごせる居室づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室前には暖簾やそれぞれ色の違う造花を飾り自室が分かるよう工夫しております。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502512		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホーム みのり菊水元町		
所在地	札幌市白石区菊水元町9条1丁目3番1号		
自己評価作成日	平成27年3月1日	評価結果市町村受理日	平成27年4月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「とまと館ユニット」に同じ

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kan=true&JigrosyoCd=0170502512-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成27年3月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(めろん館アウトカム項目) ※項目№1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム理念を定期的に改善し、朝礼で唱和すると共に現実に向けて日々の実践に取り込んでおります。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年開催している地域交流バーベキューや花火大会等、地域の方やご家族様にも参加して頂いております。町内会のゴミ拾いや花見等、積極的に参加し交流を図っております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームの行事に訪問するボランティアや毎月開催している町内会のふれあい広場に参加し、認知症の方々と関わって頂きながら、理解して頂いております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を開催し、グループホームの現状等報告、話し合いを行い、意見やアドバイスを受けサービスの向上に努めております。また避難訓練にも参加して頂き協力をお願いしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	札幌市や白石区の連絡会や研修会に参加し、意見や情報交換を行い、市の担当者と連絡を取る際には、意見や情報を参考にサービス向上に努めております		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間以外は玄関に施錠はせず、自由に入出りできるようにしております。頻回に入出りされる入居者様には個別に対応しております。社内で設置されている身体拘束委員会より、拘束違反・禁止の文章等配布されており職員一人一人が取り組めるように努力しております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待を見過ごす事のないように、社内研修や社外研修に参加し勉強しております。拒否の強い入居者様のケアに関してはカンファレンスを行い、適切なケアに努めております。		

グループホーム みのもり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護研修会に参加し学び、理解を深めながら活用し支援しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者様、ご家族様と十分に話し合いをし、細かい疑問点にも分かり易く回答し、納得して頂いた上で契約をして頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先に意見箱を設置し、間接的に意見や要望を聴き来訪時には直接意見を頂戴しております。改善点等は職員間で話し合い反映していけるように努めております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議やユニット会議、個人面談を通じて意見や提案を聞き反映させています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は定期的に職員と面談を行い、意見や不満を聞き、相談、指導を行っております。各スタッフが働きやすく向上心が持てるよう配慮し、責任を持って業務ができるよう努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に社内研修を行い、社外研修にも積極的に参加できるような環境作りに努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修時等に、同業者とのネットワーク作りを行い、サービスの質の向上に役立てております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	担当スタッフを中心とし、積極的にコミュニケーションを図りながら、ニーズを引き出し受け止められるよう努力しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様ともサービス開始前に面談、電話連絡等でコミュニケーションを積極的にとり「説明と同意」を心掛け、納得できるまで話し合うようにしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスの利用開始時に、ご本人様ご家族様の考え、要望を聞き取り必要としているサービスを迅速に見極め他サービス利用も含めた対応に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個人個人の能力に応じたお手伝い等の役割作り、趣味活動の支援、日々の生活の中で喜怒哀楽を共有し家庭的な関係作りに努めております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	アセスメントの記載に協力して頂き、本人様のニーズ等共有し、行事等を通じ、共に本人様を支えていく関係を築けるように努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様と連携を取りながら協力により、昔から通われている病院の受診、定期的なドライブ等の支援を行っております。ご家族様、ご友人との面会、電話連絡等でご関係を保たれるよう努めております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士がお互いに支え合える人間関係に配慮し、良好な関係を保って頂けるよう必要に応じた見守り、支援を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も近況の葉書を送り合うなど必要に応じてご相談ののれるようご本人、ご家族様との関係を大切にしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様との毎日の関わりで思いを傾聴し、意向に添えるよう支援を行っております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様より頂いた入居前の情報や前サービスの内容を把握し、その人らしく過ごせる環境作りに努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の毎日の状態をスタッフ全員が把握出来るよう毎日のケース記録、申し送り、連絡ノートなど用いて情報を常に共有しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月ユニット会議でカンファレンスを行うと共に、状態に応じてご家族様、主治医、看護師と話し合いセンター方式を利用して計画書を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	普段の様子や気づいた点を毎日記録に残してスタッフ間で情報を共有しサービス、介護計画の見直しをしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様と連携を取りながら病院受診、宗教活動の参加、お墓参りへの同行等、個人のニーズに合わせた支援を行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会主催のふれあい広場に参加されたり、町内会の方々にも避難訓練に参加して頂くなど、町内会の方と関わりをもっていく中で入居者様一人一人が能力を発揮できるよう支援しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な歯科、訪問看護師の往診、月2回内科主治医往診があり、その他入居前からの受診の継続をご家族様と協力し支援しております。		

グループホーム みのもり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師往診の際、状況を報告、相談した上で指示を頂き、入居者様一人一人の健康管理を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居様に異変が起きた際は、担当の主治医と連携を図り医療機関へ受診出来るよう関係作りに努めております。入院された際は、お見舞いにお伺いし状態を把握、病院関係者、ご家族様と情報交換を行い、早期退院を支援しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「重度化・看取りに関する指針」を備えており、職員とご家族様の両方で方針を共有し取り組んでおります。更に、医療機関とも何時でも連携が取れる体制になっております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習を定期的に受講し、どのように対応すべきかを習得しております。緊急時の際は、主治医やホーム長に指示を仰ぎ対応しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練は日中・夜間を想定し実施しており、又消防点検も実施いたしております。町内会の方にも参加して頂ける体制作りをし、緊急連絡網を作成しております。		

Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	社員研修やマナー研修等で接遇を学び、入居者様への対応は日々心がけております。個人情報等は人目につかない場所に置くなど取り扱いには十分に注意しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様一人一人に合わせた対応を行い、日々の生活の中で思いや希望を表出しやすい様な環境作りや声掛けを行う支援をしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせた生活ができるよう心掛け、希望があれば出来る限り添えるよう努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類の選択をして頂く事や訪問理美容を活用し、入居者様の個性を大切に、カット・パーマ・毛染め等を行っております。		

グループホーム みのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	イベント等を取り入れ、出前や外食を楽しんでいただいております。お手伝いの可能な方に配膳の準備や食器拭き等をお願いしております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量を記録し、介助の有無等、個々の状態に合った量や形態で提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行って頂き、ケア困難な方には介助を行っております。月2回の歯科往診で口腔内のチェックとアドバイスを頂いております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	おむつ使用している方でも日中はトイレを使用していただいております。介助が必要な方にはトイレ誘導を行い、トイレでの排泄を支援しております。必要に応じて夜間のポータブルトイレの設置をしております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の有無に関わらず、毎朝乳製品を提供しております。毎日排便の記録を取り、便秘予防に努めております。医療機関と連携を図りながら薬の処方をして頂いております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個々の希望に可能な限り合わせられるよう努め、入浴を楽しんで頂けるよう入浴剤等の工夫しております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣や体調など状況に合わせて、安眠や休息が取れるよう、環境づくりや寝具にも配慮し支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の準備後スタッフ2名で日付・名前のチェックをして、服薬後の確認も他のスタッフが行っております。またお薬の情報書を確認し確実に服薬が行えるよう努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	訪問販売などで入居者様が居室で飲食される嗜好品の購入や散歩や外出などで個別ケアを重視しながら取り組んでおります。		

グループホーム みのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候の良好な日には近隣の公園などで散歩を楽しんで頂いたりお買い物、ドライブなどの支援を行っております。また春・秋には季節に合わせた外出行事をご家族様にご参加頂き、全員参加にて行っております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人一人の、能力に応じ、お金は所持して頂いております。スーパーやドラッグストアなどで買い物へ出かけられだり、好みの物を購入出来るよう支援しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	スタッフルームに設置している電話機は入居者様にも共有しており自由に使用して頂きます。また必要に応じて取り次ぎ行っております。また手紙も自由にやり取り出来るよう支援しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングなどの共有スペースは季節ごとに合わせた、飾り付けを行い居心地よく過ごせるような工夫をしております。またリビングやトイレ各居室清掃は毎日行っております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースには、食卓用テーブルやテレビ、ソファを設置し廊下にも椅子を配置しお一人でリラックス出来る環境や互いに入居者様が会話出来る環境を作るよう心掛けております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様と相談した上で馴染み深い物や、家具等を持ち込んで頂き、住み慣れた環境に近い空間作りを心掛けております。また、ご家族様の写真等を飾り安心して頂いております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の能力を活かし、混乱される事のないよう簡単な料理のお手伝いや食事の準備・後片付け等を行って頂いております。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム みのり菊水元町

作成日：平成 27年 4月 15日

市町村受理日：平成 27年 4月 16日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	言葉で表現できない入居者様の思いや意向を定期的にセンター方式のアセスメントシートに記入していたが、随時見直しは出来ていなかった。	随時見直しをかけ情報を反映させて、蓄積していく。	センター方式のアセスメントシートには変化があれば随時、入居者様の思いや意向を分かり易く記入していく。	6ヶ月
2	26	ケース記録には介護計画のニーズを載せていたが目標を載せておらず、介護計画を意識したものになっていなかった。また、ご家族様の同意は得られているが、署名捺印のないものがある。	ケース記録を見て介護計画が分かり、目標達成に向けて記載できる様に変更する。ご家族様には同意を得て早い段階で、署名捺印をお願いする。	ケース記録には介護計画の短期目標を載せて、目標達成に向けて記載していく。ご家族様には早い段階で署名をいただけるよう到来訪時や電話連絡、郵送など行っていく。	6ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。